

## 多彩!教室で活躍するJET-ALT

取組の主体			取組の対象				地域の国際化			特色ある取組			
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒			教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用

### No.11 JET-ALTの常駐による特色ある小学校づくり

実施時期：令和4年～現在  
任用団体名：富山県立山町

#### 取組のポイント

- 全校65名の立山町立釜ヶ淵小学校において、毎日JET-ALTが常駐し、外国語の授業だけでなく体育や図工などの教科にも参加。
- 学校の特色化に加え、子どもたちに気軽に英語や異文化に触れる機会を提供。

#### 任用団体の基本情報

人口：25,021人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数：(ALT) 5人 (CIR) 0人 (SEA) 0人

学校数：小学校6校、中学校1校

#### 取組の背景・課題

釜ヶ淵小学校地区では、学校統廃合を危惧する地域住民や保護者の思いがあり、学校の存続を求める声が続いていた。そのような中で、当該小学校にJET-ALTを1人常駐させることで、特色のある学校にすることができるのではないかと町長による提案により、本取組が実現した。

町では、小学校に2人、中学校に3人のJET-ALTを配置しており、5人全員が小学校6校を巡回する手厚い体制で外国語指導を行っている。こうした中、学校の存続に加え、児童が同じJET-ALTと過ごすことで学校生活をより楽しく送ることができると考え、JET-ALTのうち1人が釜ヶ淵小学校に常駐するよう、学校や教育センターとの調整を行った。

#### 取組の内容

常駐するJET-ALTは、以下のようなシフトで授業、委員会クラブ活動等に取組んでいる。

- ・月曜日：6年生の家庭科、3・4年生の体育、2年生の図工
- ・火曜日：3～6年生の外国語、2年生の生活科
- ・水曜日：3・4年生の体育、1年生の図工、5・6年生の体育、委員会クラブ活動
- ・木曜日：朝の体操、別の小学校3年生の外国語
- ・金曜日：別の小学校3・5年生の外国語、5・6年生の外国語

シフトを組むに当たっては、他の町内JET-ALTと比較して、授業時数及び巡回する学校数が極端に少なくならないよう配慮した。

## 取組の内容（続き）

本取組を実施するに当たり、小学校や周囲のJET-ALTに前向きに協力してもらう観点から、以下のような工夫をした。

- ・前述のとおり、他の町内JET-ALTと比較して、常駐するALTが極端に授業時数や巡回校が少なくならないよう、町教育センター・学校と調整を行った。
- ・別の学校へ移動する日は、常駐するJET-ALTに給食を早めに取りってもらうようお願いした。
- ・必要に応じ木曜午後3時から約1時間、町内JET-ALT、町教育センター、教育委員会で（必要に応じて町英語専科講師も含めた）ミーティングを行い、情報共有を行うことで、各ALTの悩み・相談を聞いている。
- ・ミーティングを行う中で、別の小学校での授業の打合せを行う時間が取れないと常駐JET-ALTから相談があった。授業の素案をFAXで送ってもらい、それを打合せ代わりにする案を試したところ、スムーズに行えたため、現在も行っている。
- ・学校にJET-ALTが1人常駐する話を伝えた際は、「どのようにJET-ALTを活用してよいかわからない」という意見があったが、今では休み時間や給食も児童と一緒に過ごすなど、積極的に活用してもらっている。



校外学習に参加している様子



授業を英語で伝えている様子

## 取組の成果・今後の展望

本町では、令和4年度から初めての試みとして、JET-ALT 1人を小学校へ常駐させる取組を約半年行ってきた。

外国語の授業や活動は小学3～6年生が対象になっているが、本取組では小学1・2年生に対しても、気軽に異文化に触れる機会を提供できているところが魅力的である。また、休み時間や給食など、同じJET-ALTと共に日常生活を過ごすことは、児童にとって学校生活の楽しみの一つとなっており、児童とJET-ALT双方にとって充実した取組となっている。

今後もこの取組を継続し、JET-ALTを通じた児童の異文化交流を深めていきたいと考えている。

### 問合せ先

担当部署名：富山県立山町教育委員会学校教育係

T E L : 076-462-9981

M A I L : kyouiku@town.tateyama.toyama.jp

U R L : <https://www.town.tateyama.toyama.jp>

